

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

過活動膀胱診療ガイドライン 第3版

日本排尿機能学会/日本泌尿器科学会（過活動膀胱診療ガイドライン作成委員長：武田正之 山梨大学医学部泌尿器科 客員教授・名誉教授・名誉参与）

リッチヒルメディカル 2022 年 9 月 1 日 第3版第1刷発行

Minds 掲載 有

Grading Scale of Strength of Evidence

- 1:2つ以上のレベル I の研究に裏付けられる
- 2:1つ以上のレベル I か、複数のレベル II の研究に裏付けられる
- 3:レベル III の研究に裏付けられる
- 4:レベル IV の研究に裏付けられる
- 5:レベル V の研究に裏付けられる

Clinical Principle 臨床原理※

文献的なエビデンスはあってもなくても、泌尿器科医や他の臨床医に広く実施されている基本的な臨床的内容である。

Expert Opinion 専門家の意見※

文献的なエビデンスはないが、ガイドライン委員会の臨床トレーニング、経験、知識および判断に基づく臨床的内容の総意である。

Grading Scale of Strength of Evidence (論文のエビデンスレベル)

- I: 大規模 RCT で結果が明らかなもの
- II: 小規模な RCT で結果が明らかなもの
- III: 無作為割り付けによらない比較対象研究
- IV: 前向き対照のない観察研究
- V: 後ろ向きの症例研究か専門家の意見

Grading Scale of Strength of Recommendation

- A:行うよう強く勧められる
- B:行うよう勧められる

C:行うよう勧められるだけの根拠がない

C1:行ってもよい

C2:行うよう勧められない

D:行わないよう勧められる

保留 * 推奨のグレードを決められない

■1 漢方薬

疾患:

抗コリン薬の副作用(口内乾燥)

CPG 中の Strength of Evidence:

Expert Opinion(文献的なエビデンスはないが、ガイドライン委員会の臨床トレーニング、経験、知識および判断に基づく臨床的内容の総意)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行ってもよい

引用など:

王宝禮. 口腔乾燥症治療への漢方薬の選択の展望. *歯科薬物療法* 2017; 36(1): 37-40.

■2 白虎加人参湯、滋陰降火湯、五苓散、麦門冬湯、十全大補湯、柴胡桂枝乾姜湯、小柴胡湯、八味地黄丸、当歸芍薬散、柴朴湯

疾患:

抗コリン薬の副作用(口内乾燥)

CPG 中の Strength of Evidence:

Expert Opinion(文献的なエビデンスはないが、ガイドライン委員会の臨床トレーニング、経験、知識および判断に基づく臨床的内容の総意)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行ってもよい

引用など:

柿木保明. 高齢者における口腔乾燥症. *九州歯科学会雑誌* 2006; 60: 43-50.

[MOL](#), [MOL-Lib](#)

<以上 1~2 の記載として>

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ8: 抗コリン薬の副作用に対して、どのような対処法が推奨されるか?』に対して、下記の記載がある。

『1. 口内乾燥: エビデンスレベルは低い、口内乾燥に対して一般的に行われている対処法を以下に記した。

漢方薬: 口腔乾燥に有効とされる漢方薬を表 5 に示す。口腔乾燥症の病名で処方が可能なものは、白虎加人参湯と滋陰降火湯であるが、そのほかの漢方薬についても口腔乾燥に有効との報告がある。漢方薬は、身体のバランスの改善することによって症状の改善をもたらすことから、一般に症状の改善までに 2 週間～3 カ月と経過が長くなる。漢方薬とともに保湿剤などによる口腔内の保湿を行うことを併用しながら治療をすると効果が出やすい。』

備考:

口内乾燥に有効と考えられる漢方薬の表中に、白虎加人参湯、滋陰降火湯、五苓散、麦門冬湯、十全大補湯、柴胡桂枝乾姜湯、小柴胡湯、八味地黄丸、当帰芍薬散、柴朴湯があり、それぞれの分類、主な証、症状・備考、主な適応症が記載されている。

■3 大黃甘草湯、大建中湯、漢方薬

疾患:

抗コリン薬の副作用(便秘)

CPG 中の Strength of Evidence:

Expert Opinion(文献的なエビデンスはないが、ガイドライン委員会の臨床トレーニング、経験、知識および判断に基づく臨床的内容の総意)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行ってもよい

引用など:

慢性便秘症診療ガイドライン

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ8: 抗コリン薬の副作用に対して、どのような対処法が推奨されるか?』に対して、下記の記載がある。

『2. 便秘:慢性便秘症診療ガイドラインを参照した。下剤は、広く使用されているが、その種類とその効果は多様である(表 6)』

表 6 内に漢方薬の記載あり

備考:

本邦において便秘に対して使用される主な薬剤名の表中(表 6)に、その他として「大黃甘草湯、大建中湯などの漢方薬」の記載がある。

■4 漢方薬(牛車腎気丸)

疾患:

過活動膀胱

CPG 中の Strength of Evidence:

3:レベル III の研究に裏付けられる

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行ってもよい

引用など:

1)過活動膀胱診療ガイドライン第2版

2)女性下部尿路症状診療ガイドライン第2版

有効性に関する記載ないしその要約:

治療 2 薬物療法 の項に『漢方薬 (牛車腎気丸) 』として、下記の記載がある。

『有効性を支持する根拠は十分ではないが、牛車腎気丸は女性過活動膀胱患者に対して有効との報告がある。なお、本剤の適応疾患には過活動膀胱は含まれていない。』

備考:

過活動膀胱 (頻尿・尿失禁) の治療薬の表中に、その他の薬剤として牛車腎気丸があり、用法・用量と推奨グレード C1 の記載がある。